

全国で学校コンサートの輪 広がる 学校コンサート地域版

ピティナ本部主催の学校クラスコンサートが始まって1年。2005年6月より2006年10月末までで、63校で実施された。この流れに連動して、今、全国の会員の先生方による自主的な学校コンサートの活動が盛んになってきた。地域に根ざした長期にわたる生涯学習としてピアノ教育を捉えた時、その活動の場を学校の中へ一歩進める指導者が増えている。こうした活動を通して、地域社会や学校とどのように連携するか、ピアノや音楽と普段接していない子どもたちの生の声にどう応えるか、新たな課題に挑戦している指導者たちの学校活動の一部をご紹介します。

支部・連絡所・ステーション主催の学校クラスコンサート

全国の支部・連絡所・ステーションが事務局として所属会員の先生方の学校コンサート活動をサポートするスタイルが進んでいる。学校への打診や日時調整や打ち合わせ、教育委員会との連絡など、先生方個人ではなかなか動きづらいところをサポートしている。長期的には、それぞれ複数の先生方がお互いに得意な分野やエリアを生かし、コンペ・ステップなどの活動ともうまく組み合わせながら相乗効果を高めていく、1つの事務局活動の柱として定着していくことになるかもしれない。

横浜中央支部 (神奈川)

沼田はるみ先生&布施まさみ先生 (06/06/27)

鎌倉市在住の沼田はるみ先生と妹の布施まさみ先生が、鎌倉市立大船小学校を姉妹ピアノデュオで初めて訪問した。音楽室で4年生を1クラスずつ2回と、クラスコンサートのスタイル。2人の先生で協力して、迫力ある連弾と、イントロクイズやリレ一連弾、ポディパーカッションによるリズムアンサンブルなど、コンサートのアイデアを練り準備する一方、横浜中央支部は、



鎌倉市教育委員会や校長会の訪問、連絡を通じ、各学校との日程調整や報告などを受け持った。早速11月に2日間、同市内の今泉小学校での実施が決定した。

帯広連絡所 (北海道)

國谷尊之先生 (06/09/25)

9/24 (日) の帯広ステップを生かして、帯広市出身の國谷尊之先生による母校・帯広市立柏小学校でのクラスコンサートが実現した。折よく柏小では地域対象の生涯学習コンサートでも地元出身のアーティストを探しており、地域コンサート・ステップアドバイザー&トークコンサート・クラスコンサートと3本立ての故郷コンサートとなった。帯広の地を離れて長い國谷先生、それを迎える学校や帯広連絡所の先生方の感慨もひとしおで、母校の校歌の共演や、小学生時代に作曲したソナチネの披露、また子どもたちからバースデイソングのプレゼントなど、故郷ならではの交流の場面もあった。帯広連絡所は、学校への打診や帯広市教育委員会への後援取得、学校の先生との連絡をしてこの日を迎えた。



新豊橋ステーション(愛知)

長谷川淳先生 (05/09/25) ・野畑さおり先生 (06/09/17)

ステーション主催第1号として昨年9月に自ら地元の学校へ赴いて音楽室でコンサートをし、た長谷川淳先生。学校行事の「どんとこい祭り」で希望者が低学年・中学年・高学年と3回に分かれて参加する企画は、好評につき今年も実現の運びとなった。2年目の今年は同ステーションで活動をしている野畑さおり先生が出演。自身で編曲を手がける野畑先生は、みんなのよく知っているディズニーや日本の歌、ねこふんじやつなどを盛り込んだオリジナル曲で子どもたちを惹きつけ、技巧曲をピアノの周りに集めて動きを見せるなど、音楽室ならではの交流の特性を生かしたプログラムで子どもたちを喜ばせた。新豊橋ステーション代表の長谷川先生は、自らも舞台に立つとともに、後進の先生の活動の幅を広げるきっかけも提供し、バランスよいステーション活動を行っている。



全国の会員の先生も学校へ一歩踏み入れる

広島 母校でトークコンサート

丹内真弓先生 (06/04/24)



ステップのトークコンサートでも大好評の丹内真弓先生は、母校である広島県尾道市立日比崎小学校の総合的な学習の時間へ、「ようこそ先輩」として呼ばれた。丹内先生自身が郷里の尾道市の古謡を編曲し、今では踊りのコンテストとして大きなお祭りになっている「ええじゃん SANSA・がり」という曲の編曲秘話や、お得意のアレンジを今度は校歌でやってみせた「校歌七変化」など、丹内先生ならではのオリジナリティあふれる郷土色豊かなコンサートとなった。

長崎

音楽のゲスト講師から全校コンサートまで

中村美穂先生 (06/06/20)

娘さんの通っている長崎県南島原市立口之津小学校で、娘さんのクラスの音楽の授業のゲスト講師として呼ばれ、ピアノの演奏や新聞紙を使った楽器作り体験などの授業をした中村美穂先生。それが好評で第2弾は学年全部の前で朗読とお話のコンサートを、次にはヴァイオリニストとの共演で全校コンサートを、と活動が続いてきている。それがきっかけでピアノを始めたい!と習いに来始めた子も。島原ステーション代表の中村先生は、ステーションの活動として今後も継続して広げていけたら、と夢は尽きない。



東京

クラスコンサートで出会った生徒に 音楽鑑賞会で再会

佐藤展子先生 (06/06/10)

2005年11月に学校クラスコンサートで4年生を訪れた東京都文京区立昭和小学校から、今度は全校型の保護者参観の音楽鑑賞会に呼ばれた。大規模に体育館のため、音楽室の楽器を総動員した打楽器のコンサートを開催。生徒にも「たたく」「ふる」「こする」のテーマに沿った創作楽器を作ってきてもらい、保護者のボディパーカッションも加わった合奏も行った。一度行ったクラスの生徒たちとも半年ぶりの再会コンサートとなった。



各地、各事務局、各先生個人の特色豊かなコンサートの内容や展開の仕方を見せている学校コンサート。この他にも、各地で多くの会員の先生方による活動の様子が届いている。各コンサートの様子は下記ホームページ参照。

→ www.piano.or.jp/concert/school/local

【問合せ】

全国の実施事務局と会員の先生方の積極的な活動と、情報をお待ちしています。

ピティナ本部事務局:学校クラスコンサート係 school@piano.or.jp